

くずまき 議会だより



No. 159
6月定例会

平成24年7月25日発行

ホームページ▶ <http://www.town.kuzumaki.iwate.jp/>



身近な住民要望の解決を

- 常任委員会が工事箇所等を視察 2p
- 定例会・臨時会で決まったこと 4p
- 一般質問 ～3議員が町政を問う～ 5p
- 北中城村議会の皆さんが来町 8p
- 平庭トンネル早期着工・完成促進住民大会 9p
- インタビュー 岩手銀行葛巻支店長 10p

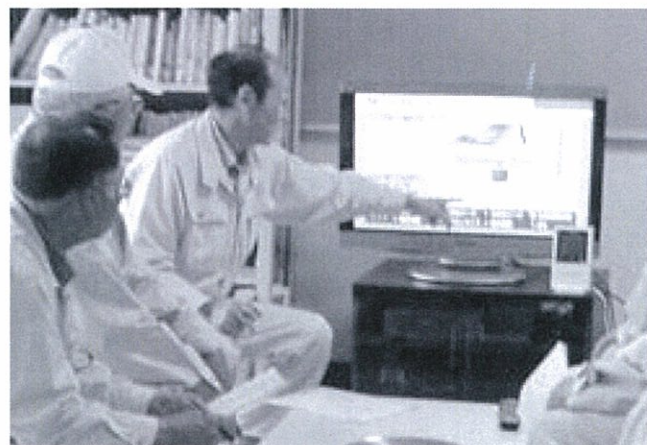
笑顔のつどい



今月の表紙

もか
見澤望叶ちゃん（前列右）
お誕生日おめでとう
（誕生会&七夕まつり）
冬部児童館

町内25カ所の地区センターに整備された太陽光発電設備（江刈農村センター）



発電量は地区センターのテレビで確認



発電した電気は蓄電池に充電し、災害時等に活用



身近な住民要望の解決を

輝くふるさと常任委員会

工事箇所などを視察

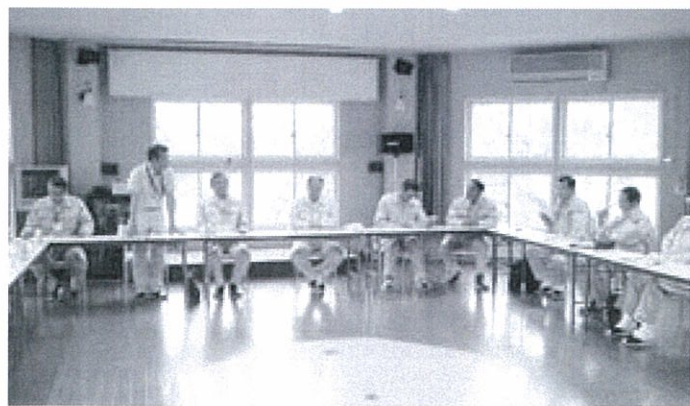
三楽子から江刈小屋瀬に通じる林道沿ノ平線を視察する議員

【主な意見】

- ◇未発注の工事は、早期の着工を心掛けて欲しい。
- ◇町で発注する工事は、冬期間の施工が多いように思われることから、発注から施工までのチェック機能を含め、工事時期の適正化を図って欲しい。
- ◇災害復旧については、施工箇所の近隣が後に災害で崩れることもあり、流域全体の改良を含めた工事を検討して欲しい。
- ◇除雪等によりグレーチングが破損したり、路盤や橋に穴が開いているなど既存道路の管理や補修等が思わしくない箇所が見受けられるので、河川や道路のパトロールを町内業者に委託するなど、修繕箇所の早期発見・工事を行う体制づくりを今後の研究課題として欲しい。

道七滝線では「脇を流れる沢の所々に流木が滞留し、二次災害が心配されるので、総合的な対策が望まれる」と意見が出されました。

また、2日目の視察終了後に行われた情報交換会では、葛巻まち・みちづくりや砂防事業、道路事業などの県営工事について説明を受けました。その後の意見交換では、町中心部国道のオーバーレイ（表層の一部を削り、舗装し直す）や温度計の設置、平庭トンネル、主要地方道一戸葛巻線などに関する意見が活発に交わされました。



岩手土木センターと町議会の意見交換会（プラトリー）

主な視察箇所は、昨年9月の台風15号の大雨による災害復旧工事の予定箇所、今冬の異常低温で道路がひび割れし、今後補助金の申請を予定する箇所や、23年度に整備された地区センターの太陽光発電施設などです。

初日は、町中心部と江刈、星野方面25カ所の現場を視察。このうち、新たに認定された町道茶屋場田子線のうち、元町橋付近から役場裏の馬淵川堤防区間は「パイパス機能を持たせるような広さでの整備の検討を」、町道宝積寺線と鴨川線は「さらなる改良の延長が必要では」などの意見が出されました。

翌日は、田部、小屋瀬・吉ヶ沢方面の現場22カ所を視察。町

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は6月6日と7日、平成23年度に完了した事業と24年度に計画している事業の工事箇所などを視察しました。

また、2日目の視察終了後に、県盛岡広域振興局土木部岩手土木センター（今野政和所長）と「県営工事等についての情報交換会」をプラトリーで開催し、活発な意見交換を行いました。



道路の切り替えにより、出入しやすくなった小屋瀬塚森線



鈴木 満 議員

問 東電福島第一原発の事故による放射能汚染は

答 新基準超過の酪農家は18戸 畜産以外は大きな影響なし



懸命に行われる一番草の収穫作業（江刈）

議員 ①放射性セシウムによる牧草の被害状況と対策は。
 ②原発事故の問題により、廃用牛の滞留状況と対策は。
 ③町内の農作物への影響は。

町長 ①今年4月から牛用飼料の暫定許容値が、300ベクレル/キログラム（以下、「ベクレル」は1キログラムあたり）から100ベクレルに引き下げられました。県では、50ベクレルを超えた牧草は、搾乳牛に与えないという独自の対策を打ち出しています。これに伴い、市場やと畜場への出荷の可否を判断するための検査が行われており、町内286戸の農家のうち、5月31日現在で、242戸が検査済みと

なっています。この検査の結果、100ベクレルを超えた農家は18戸、50ベクレルを超えた農家は55戸です。うち、23年産の二番草以降で100ベクレルを超えた農家12戸が除染対象となっています。利用できない牧草は、埋却やすき込み、たい肥化などを行うよう指導を行っています。②原発事故後、牛肉中の放射性物質の暫定基準値500ベクレルを超えた肉が出荷されたことから、昨年8月以降、12カ月齢以上の牛は、県外への移動やと畜場への出荷が制限されています。今年4月からの牛肉の基準値引き下げに伴い、21ベクレル以下の牧草を確保できない農家は、廃用牛を出荷できない状況が続いています。今後は、集中管理施設等での飼育直しや町内の滞留の状況などを踏まえ、対策を講じたいと考えています。③町が行っている農産物等の簡易検査では、ほとんどが不検出です。畜産以外では大きな影響はな

問 ドクターヘリ運航町としての対応は

本町でも出動要請があったと聞いているが、町の対応は。

答 着陸場所の確保とヘリポートを検討

県から委託を受けた学校法人岩手医科大学が実施主体となり、「岩手県ドクターヘリ」として5月から運航しています。出動区分は、救急現場出動と病院間転送の二つがあり、運行時間は午前8時30分から午後5時までです。ドクターヘリによる搬送経費の傷病者負担は、無料となっています。県全体の5月の運航実績は、26件で、本町でも6月に入ってから救急現場出動1件、病院間転送1件となっています。町としては、ドクターヘリ・ランデブーポイント（着陸場所）の確保やヘリポートの整備を、今後検討します。

6月定例会・臨時会で決まったこと

- 公共施設等整備基金積立金..... 3億円
- ・24年度未残高見込額...17億57万円
- 協働のまちづくり推進事業（補助金）.....980万円
- ・五日市自治会（テーブル、イス、テント）
- ・四日市自治会（除雪機、投光機、踊用衣装ほか）
- ・元木自治会（テーブル、イス、放送機材、投光機）
- ・車門念仏剣舞保存会（踊用衣装、締太鼓）
- 消防団等管理経費（補助金）.....340万円
- ・小屋瀬少年消防クラブ（ポンプ一式、活動服）
- ・葛巻保育園幼年消防クラブ（幼年鼓笛隊セット）
- ・小田部落会自主防災隊（除雪機、夜行チョッキほか）
- 生涯学習推進事業（補助金）.....130万円
- ・鼓童葛巻公演 日時 9月11日（火）18：30開演
- 場所 社会体育館

定例会

6月14日

24年度補正予算

一般会計に3億5573万円を追加し、総額を51億6049万円としました。主な支出は、次のとおりです。

条例改正

「外国人住民」は今後、住民基本台帳法が適用されるため、次の条例から「外国人」の表記が削除されます。なお、印鑑の登録は、通称やカタカナ表記で申請できます。

- 印鑑条例
- 敬老祝金条例
- 手数料条例
- 請負契約

請負契約

●地域情報通信基盤施設拡充整備工事

▽工事内容
災害関連情報等をくずまきテレビや屋外告知放送、町ホームページなどに一括配信する機能の整備などを行います。

- ▽併せて、町役場サーバ室の無停電化のため、自家発電設備を導入し、災害時等における情報収集・情報発信機能を維持するものです。
- ▽契約金額 3億2550万円
- ▽契約相手 北日本通信（株）
- ▽工事期限 平成24年12月28日

財産取得

- 第17分団消防ポンプ自動車
- ▽契約金額 1869万円
- ▽契約相手 互光商事（株）
- ▽納入期限 平成25年2月28日

町道認定

- 町道路線の認定
- ▽路線名 町道茶屋場田子線
- ▽延長等
- 元町橋から田子ふれあいセンター1付近までの一部、馬淵川堤防区間を含む3020m

人事案件

- 人権擁護委員候補者の推薦
- 深澤 進さん（野中・再任）、藤岡 徹さん（新町・新任）を候補者として推薦することに同意しました。
- 任期は、平成24年10月1日から27年9月30日までです。

臨時会

4月27日

条例改正

◆町税条例の一部改正

東日本大震災からの復興を目的として、26年度から35年度までの10年間、個人の町民税均等割に500円が加算され、年額3500円になります。なお、個人の県民税均等割も同様に500円が加算され、年額1500円となるため、町民税均等割と合わせて年額1000円の負担増となります。

人事案件

- ◆教育委員会の委員の任命
- 中田直雅さんを教育委員に任命することに同意しました。
- 任期は、平成25年12月24日までです。



中田 直雅さん (57歳・下町)





やまぎし み
山岸はる美 議員

問 商工業活性化のための対応策は

答 商工会の取り組みに対して積極的に支援

議員 ①町内10自治会を対象に、平成23年度葛巻町消費者動向調査を実施した結果は、

②現在建設中の大型店進出は、消費者は豊富な商品を安く選択でき、雇用の場が創出されることとが利点とされます。一方で、町内の各商店に影響を及ぼすと考えられますが、対応を商工関係者と協議されたのか。

③葛巻の特産品と位置付けて和・洋菓子、南部せんべい、豆腐製造などの職人育成の考えは、

町長 ①この調査は「個店の経営戦略」「まちなかイベント」などに反映させたいと、昨年5月に町商工会、町産業振興協議会商工専門部、まちなか活性化協議会が共同で実施したものです。

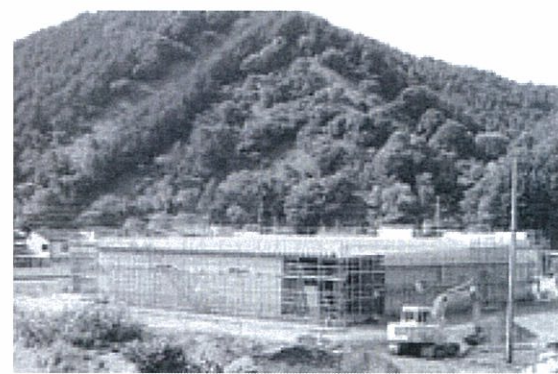
町内での買い物に対する満足度は51%で、不満足は49%と満足側の立場と不満足側の立場が拮抗している状況です。地元購買率は38%、次いで盛岡市が23%となっています。

商工会では「結果を真剣に受け止め、さらなるサービスに取り組んでいきたい」としており、町としても積極的に支援してい

きます。

②大型店の進出は、商店街、地元商店にとって、経営上少なからず影響を受けると考えられます。高齢化、過疎化が進む町において、住民との「情報発信・情報共有」など商店の果たす役割は大切なものです。商工関係者の要望や意見を伺いながらしっかりと支援していきます。

③盛岡手づくり村のまちなか版を想定し、「ものづくり」のための人材育成と体験できる環境整備を進める必要があると考えています。商工業、町内の産業全般にも経営者の高齢化、担い手・後継者の不在等が危惧されることから、人材育成、人材確保が重要であり、まちなか整備と併せて支援制度の充実を図つ



建設が進む大型店舗 (田ノ沢地区)

問 エネルギーの活用施策は

①地区センターに設置された太陽光発電の発電状況は。

②葛巻町地域エネルギー活用調査検討委員会の報告書の中で、太陽光・風力発電、木質バイオガス、畜ふんバイオマスなどの利用可能性が明記されていますが、目標数値を掲げて取り組む考えは。

③袖山の風力発電の稼働状況は。

答 国の政策を注視 総合的に検討を

①施設ごとに多少の差はありますが、現時点では計画の2倍を上回る実績となっています。

②国のエネルギー政策の動向を注視しながら、数値目標の設定を行うことも含めて総合的に検討していきます。

③エコワールドくずまき風力発電は、平成11年6月から運転を開始しています。当初計画より平均風速が見込めなかったり、故障が多発したことで、平成17年から債務超過の状態です。

問 「孤立死」の増加が懸念 予防の現状と対策は

答 地域内の連携強化と孤立しない体制づくりに努力



しばた いさお
柴田 勇雄 議員

議員 23年後の平成47年に葛巻町の人口は、約4000人、高齢化率も55%を超える「限界の町」と予測されています。

高齢化率の上昇は、高齢単身世帯の増加とともに、社会問題となっている、いわゆる「孤立死」が心配されます。

この問題は、人間の尊厳に関わることから、町の孤立死予防の現状と対策は。

町長 高齢単身世帯は、12年が265世帯、22年が387世帯で今後も増加が予測されます。同世帯への緊急通報装置は、118世帯に設置されていますが、緊急ボタンを押すことへの遠慮感や認知症高齢者等の利用に課題があります。

また、民生委員、地域住民との連携活動の状況は、「電気が



交流を深める長寿スポーツ大会 (社会体育館)

点灯しない」様子がおかしい」場合には、情報確認を密にして対応しています。

今後は、地域参加活動をはじめめ家族、自治会、民生委員等の連携強化と、地域で孤立しない体制づくりに努めます。

さらには、県立大学の地域連携本部との連携や町地域情報基盤施設を活用したシステム導入を検討します。

問 木製遊具が老朽化 早急に更新すべき

総合運動公園の木製遊具が老朽化し、子どもが遊ぶ際に大変危険な状態です。安全・安心な遊具へ早急に更新すべきです。

答 早急な補修対応で 安全の確保に努力

子ども広場の遊具は、平成5年に設置され18年が経過しています。長年の風雨により遊具の腐食や釘の露出、不具合など痛みが激しい状態であることから、補修が不可能な遊具はすでに撤去しており、部分的な補修にも早急に対応するなど、危険防止と安全確保に努めます。

問 町道町裏線補修と一体的な整備が必要

町中心部裏通りの町道町裏線は、マンホール付近の舗装に亀裂が入り、凸凹状態や段差が発生し、側溝も傾くなど痛みが激しく、特に通学や高齢者の歩行に支障をきたしています。

また、町で計画している「まち・みち」づくり構想に、まちなかを楽しみながら歩いて周遊できるよう町裏線も含めた一体的な整備が必要と考えるが。

答 路面補修等改善と一体的整備は検討

町道町裏線は、葛巻駐在所から浦子内口までの延長679メートルの延長679メートルの一級町道です。住宅や公共施設が立地する重要な生活路線で、これまでも路盤改良などの整備を行っています。町裏線は交通量の多い路線で、一部凸凹の見られる箇所もあることから、今後、歩行者等に危険が及ばないよう段差や路面補修等の改善に努めます。

また、まちなか計画との関係については、今後の検討課題とします。



子どもたちが安心して通行できるよう

木地谷基視さん(久慈市山形町)



新緑から紅葉の季節の輝くような白樺林の風景は圧倒的です。一転して真冬は、急カーブと急な坂が続くこの道路は、交通事故が毎年のように発生するなど、非常に危険です。

道路は、山形町内から葛巻高校への通学や通勤など、地域住民のあらゆる日常生活を支えています。

また、昨年3月11日に発生した東日本大震災により、道路の重要性を再認識しました。

昨年誕生した長女や子どもたちが、この風景の素晴らしい平庭峠を安心して通ることが当たり前となるよう切に願っています。

妊婦も安心して通行できるよう

本宮泉さん(泉田)



町内にある葛巻病院の産婦人科は、週1回の診療のため、出産をすることはできません。そのため、町内の妊婦は町外で出産しなければならず、私も2人の娘を久慈市で出産しました。

元気な妊婦でも妊娠後期は2週間に1回、臨月には週に1回の妊婦検診があり、大きなお腹で、急カーブの多い平庭峠を越えて通うのは大変です。ましてや私は妊娠中に入院するトラブルなどもあり、非常に大変な思いをしました。幸い夏場の出産ですが、これが冬場だとさらに大変です。妊婦が安心して通行できるよう平庭トンネルの早期着工・完成を願っています。

第10回国道281号平庭トンネル早期着工・完成促進住民大会は6月2日、久慈市山形町の平庭山荘で開催され、県議会議員や本町と久慈市の住民など、約200人が参加しました。大会では、鈴木満実行委員長が、「国道281号は県都盛岡市と久慈市を結ぶ主要幹線道路です。さらに、昨年3月の東日本大震災以降、内陸と被災地を結ぶ幹線道路として、ますます

急カーブ・急な坂を解消しより安全に

重要になっていくため、早期着工・完成を念願します」とあいさつしました。続いて、久慈市内の福祉施設に勤める木地谷基視さんと、2人の娘を久慈市で出産した本町泉田の本宮泉さんの2人が意見発表(概要は左のとおり)を行いました。参加者は10回の節目に当たり、今後も粘り強く要望していくことを誓い合いました。



トンネルの早期着工・完成を祈念し、万歳三唱を行う参加者

被災地の野田・普代村を視察

輝くふるさと常任委員会は4月20日、昨年3月の東日本大震災で被災した野田村と普代村の視察を行いました。視察には、鈴木町長も同行。陸中野田駅から普代駅まで、三陸鉄道の車窓から臨む風景には、依然として「がれき」が付いている風景が目にあたりました。一行は、一日も早い復旧・復興を願っていました。

三陸鉄道に乗りし、震災当時の復旧・復興の状況を聞く議員ら



ずーっと 姉妹です!

北中城村議会主催の「感謝の夕べ」で、姉妹の絆を再確認した両町村議員(森のこだま館)

本町の姉妹町村である沖縄県北中城村議会(花崎為継議長)の全議員14人と事務局2人が、6月25日から27日までの3日間、本町を訪れました。

来町した25日夜、議会主催の歓迎会が行われ、議員のほか鈴木重男町長や町の関係者、これまで同村と交流のあった町民など約90人が参加。中崎和久議長は、「平成元年に姉妹町村の盟約を結んで以来の交流。これからはずーっと姉妹です!」と、歓迎しました。

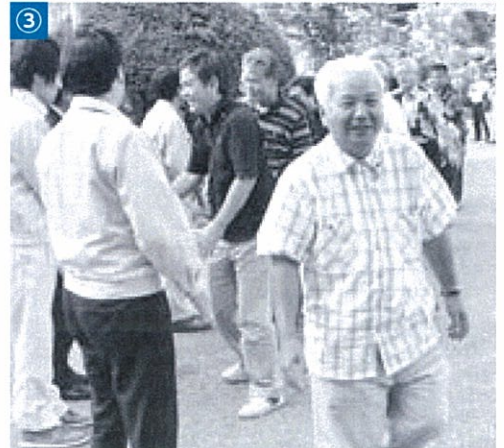
翌26日は、鈴木重男町長の「山村の持つ力」と題した講演に熱心に耳を傾けました。午後からは、中村哲雄前町長の案内で視察したくまぎ高原牧場で、新エネルギーの取り組みなどについて全議員が質問するなど、活発な研修を繰り広げました。

最終日の27日は、中崎議長の案内で昨年の3・11で被災した山田町を視察。花崎議長は「一日も早い復興を願っています。」と議員全員からの復興支援金を手渡しました。

三日間の研修を終え、「今度は議会の常任委員会で」、「家族で」「仲間同士で」と、再び訪れることを誓い、今後も交流を続けることを約束しました。

写真①「よぐ〜おでんした」と町の3役をはじめ中崎議長ほか全員でお迎えした歓迎セレモニー(役場会議室) 写真② 地区センターに設置された太陽光発電施設の発電量や売電量をテレビ画面で確認し、「すばらしい!」と絶賛する皆さん(小屋瀬農村センター) 写真③ 職員全員の歓迎を受け「度肝を抜かれた」と、感激しきりの皆さん(役場前)

北中城村議会の皆さんが来町



INTERVIEW

インタビュー

岩手銀行葛巻支店長

はたやま ひでき
畑山 英己 さん (46歳)



地域の金融機関として使命感を持って

Q. 自己PRをどうぞ。

花巻市出身で、前任地は釜石市内陸部の中妻支店です。転任直前の昨年3月に東日本大震災が発生し、市内にある他の2つの支店は営業ができなくなりました。中妻支店は自家発電設備があったので、すぐに営業を再開しましたが、家や車、通帳を丸ごと流された方々が殺到して、本当に大変でした。

妻の実家である釜石市に、妻と息子3人を残し、昨年7月7日の七夕に赴任しました。普段は新町の社宅で単身生活のため、夕食は会合や職場の親睦を兼ねて近くの飲食店の利用が多いです。

ゴルフは、趣味の域まで達しませんが、町の協会の皆さんと

ご一緒した際、迷惑をお掛けしない程度に、楽しむことができればと思っています。

Q. 葛巻町民の印象は。

色々な立場の方々为一体となって、町を盛り上げようと奮闘されており、一生懸命な人たちが多く町だと感じています。

Q. 岩手銀行の地域貢献は。

当行では、震災孤児・遺児を支援する「いわて学びの希望基金」への寄附や、県南産のハイブリットカーを巡回車両として被災地へ寄贈するなど、地域の金融機関として使命感を持って支援に取り組んでいます。

Q. 町民へのメッセージを。

一町民の立場として行事などに参加させていただき、行政、商工団体、自治会、町民の皆さんと一緒に、少しでも町の活性化のお役に立てるよう盛り上げていきたいと思っていますので、行員一同よろしくお願いします。

議会報告会は秋以降に開催



前任期中に開催された議会報告会(土谷川)

議会では、これまで町民の皆さんの声を町の施策に反映させるため、「議会報告会」を自治会ごとに行ってききました。

先の議会議員改選に当たり、現職議員10人全員が無投票で再任されました。

今任期中も議会報告会を秋以降に開催し、議会活動の内容をお知らせするとともに、皆さんの考えをお聞かせいただき、町に政策提案していきたいと考えています。

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

4月	26,000円	(消防団定例表彰祝賀会ほか)
5月	56,000円	(七滝まつりほか)
6月	21,000円	(すみれ荘完成祝賀会ほか)

広報発行常任委員会

辰柳 敬一

編集後記

3月11日に発生した東日本大震災から、1年と4カ月が過ぎました。

国策で進めた原子力発電ですから、国の責任ですべて解決しなければならぬと思っています。

6月定例会の様子をお届けします。何かご意見等がありましたら、事務局までご一報いただければ幸いです。

